

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	秋川キララホール
	所在地	東京都あきる野市一丁目16番地1
	所管課	生涯学習推進課
指定管理者	名称	秋川キララホール運営共同事業体
	所在地	東京都あきる野市一丁目16番地1
	業務内容	1 文化ホール及びこれに附属する設備の使用に関する事。 2 市民の文化活動を推進するための事業に関する事。 3 文化ホール及び附属設備等の維持管理に関する事。 4 あきる野市教育委員会が必要と認める事業に関する事。 5 その他指定管理を行う上で必要な業務に関する事。
ホームページURL		http://akigawa-kirarahall.jp/
指定期間		平成30年4月1日から令和5年3月31日まで

2 施設の利用状況等について

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開館等日数(日)	306	308	306	306	306
利用者(来客者)数(人)	71,513	75,007	68,551	72,164	67,391
前年度比(人)		3,494	△6,456	3,613	△4,773
前年度比(%)		104.9	91.4	105.3	93.4
利用料金(売上)合計(千円)	19,165	22,256	18,937	20,836	22,479
前年度比(千円)		3,091	△3,319	1,889	1,643
前年度比(%)		116.1	85.1	110.0	107.9

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
収 入	指定管理料	68,571	68,930	69,126	69,049	67,049
	使用料収入(売上)	19,165	22,256	18,937	20,836	22,479
	主催事業収入	7,515	13,269	11,953	11,782	19,118
	自主事業等収入	9,904	10,110	10,333	10,120	48
	共催事業収入	-	-	3,309	2,511	-
	その他の収入	2,344	3,065	2,502	2,613	2,370
	計	107,500	117,630	116,160	116,912	111,065
支 出	人件費	33,688	33,390	34,808	34,830	39,354
	施設維持管理費	28,675	27,517	25,755	27,305	31,521
	運営管理費	30,050	28,859	29,920	26,510	43,623
	自主事業関係費	14,514	15,250	16,684	18,982	520
	その他の支出	-	-	-	-	-
	計	106,927	105,016	107,167	107,627	115,018
収支(収入-支出)	573	12,615	8,993	9,285	△3,953	

※利用料金及び使用料収入については平成30年度内のホール使用について計上している。

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
ホール利用者へ施設に関するアンケートと、主催・自主事業の内容についてのアンケートを実施しました。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
階段の両側に手すりを設置して欲しいとの要望がありました。来年度、設置するか検討いたします。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
<p>SNSを活用した新たな情報発信に取り組んだほか、子どもや子育て世代に注力した事業を積極的に取り組みました。また、回数を増やして欲しいと要望のあった無料で聴けるエントランスコンサートを6回に増やしたほか、あきる野ルピアとの共催事業やアウトリーチを実施し、地域と連携した音楽文化の創出を体現しました。</p> <p>利用者からの要望の高かった、東京大衆歌謡楽団（昭和歌謡）・よしもとお笑いライブに加え、まちづくり推進事業の佐藤和哉コンサート（篠笛）は完売となり、地域ニーズをくみ取った事業の成功例となりました。</p> <p>その他、自動販売機のメーカーを変更した結果、4万円ほど手数料収入が増加しました。</p> <p>キララホールのトイレを、洋式化（一部を除く）する工事を実施しました。</p>

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
冷暖房や照明のオン・オフによる節電、またコピー用紙の裏紙使用を徹底する等、年2回の研修に取り組みながらコスト削減に努めました。電気・ガス料金が高騰しているため、供給会社の見直しをしました。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
<p>平成30年度の使用料収入は、トイレ工事等で貸出のできない期間がありましたが、撮影や興行による貸館収入が増加し、平成29年度よりも112万円ほど増加となりました。事業については3公演（東京大衆歌謡楽団、よしもとお笑いライブ、佐藤和哉篠笛コンサート）が完売となりました。</p> <p>支出については施設維持管理費が増加したことに加え、原料の高騰によりガスの使用料が上がったことと、ホール稼働率が高かったため、光熱水費が昨年よりも93万円の増加となりました。使用料の確認を半期ごとにスタッフと振り返り、引き続き経費削減に努めてまいります。稼働率増加により人件費がかさみましたが、今後はより効率的な人員配置ができるよう、再度努力してまいります。</p>

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
<p>新たな情報発信媒体の活用や、例年実施している無料のアウトリーチコンサート、エントランスコンサートの開催を行うことで、市民への音楽鑑賞の機会の拡大に努めており、市民サービス向上への取組が評価できます。</p> <p>市民の要望に応えた公演、エントランスコンサート、トイレの整備等が実施されており、ソフト面とハード面の両方で利用の促進が図られています。</p>	
経費削減の取組	
今夏の酷暑という天候や、稼働率の増加の影響のため、昨年度よりも光熱水費が上昇しています。今後も一層の節電等に取り組み、経費を削減するよう努めてください。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
<p>使用料収入が昨年度よりも増加していることは評価できますが、今後収支が黒字に転じ、安定した経営状態となるよう努めてください。</p> <p>完売公演もありますが、券売の振るわない公演については、券売数向上のため、効果的な広報宣伝活動や計画的な情報発信を行うよう期待します。</p>	
総合評価	A

※評価基準

S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。

- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。